

# 【平泉商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》 A：目標を達成することができた（100%以上）  
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）  
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～70%）  
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

## I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること（指針③）	①観光客数による調査分析	四半期	四半期	入込数データは収集分析し、その結果を個者支援として経営計画作成の資料として活用した	A
	②小規模企業景気動向調査の実施	毎月	毎月	全国連調査に毎月回答 調査結果は個者支援とし経営計画作成に活用した	A
	③岩手経済研究機関誌による情報収集	毎月	毎月	毎月実施 調査結果は個者支援とし経営計画作成に活用した	A
	④商工会報による情報提供	四半期	4	会報の発行（全世帯配布2回、会員専用2回）	A
	⑤ホームページ等による情報発信	四半期	1	調査結果を公開	D
2. 経営状況の分析に関すること（指針①）	①巡回件数（年）	800	600	計画的な実施が出来なかった	C
	②ネットde記帳利用事業者数	55	40	廃止1	C
	③経営状況の分析事業所数	50	40	ネットde記帳のデータ活用	B
3. 事業計画策定支援に関すること（指針②）	①経営計画作成セミナー参加者数	20	11	11/29経営計画作成セミナー実施	C
	②補助金等申請支援数	20	22	持続化補助金13、経営革新1、もの補助1、県補助1、町補助5、先端設備計画1	A
	③マル経融資件数	10	10	経営指導員1人5件以上の目標	A
	④経営発達支援融資件数	1	0	案件無し	D
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること（指針②）	①経営革新計画認定者数	4	1	1社	D
	②創業者数	2	1		C
	③各種制度認定後のフォローアップ支援数	37	135	各種補助金採択後の支援延べ回数	A
5. 需要動向調査に関すること（指針③）	①観光客による需要動向調査	四半期	無	伴走型補助金不採択により委託不能となった	D
	②岩手経済研究機関誌による業種別需要動向情報収集	四半期	12	毎月実施 調査結果は個者支援とし経営計画作成に活用した	A
	③金融公庫メルマガによる需要動向情報収集	毎月	12	毎月実施 調査結果は個者支援とし経営計画作成に活用した	A
6. 新たな需要に寄与する事業に関すること（指針④）	①平泉ブランド認証商品数	80	62	登録商品商品数は維持	C
	②ネット通販取引件数	90	23		D
	③ニッポン全国物産展出展者数	2	2	11月 池袋にて開催	A
	④ITスキルアップ講習会開催	1	無		D
	⑤マスコミへのプレスリリース	毎月	21	事業の都度実施し結果は県連へ報告	A

## II 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 平泉ブランド認証商品による小規模事業者支援	①平泉ブランド認証商品数	80	62	登録商品商品数は維持	C
	②ネット通販取引件数	90	23		D
2. 中心市街地賑わい創出による小規模事業者支援	①町なか商店街活性化委員会の開催回数	4	2	委員会の開催	C
	②賑わい創出イベントの回数	2	1	中尊寺通りホコ天まつりの開催	C
	③のれん看板の設置店数	20	21	Facebookを活用し店舗のPRを実施	A

## III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	①経営改善貸付連絡会議参加	2	2	会議2回に参加	A
	②中小基盤整備機構の活用	1	1	機構主催の研修参加	A
	③地域内金融機関との情報交換会	2	2	創業支援ネットワーク会議を開催するとともに不定期に情報を実施	A
	④町行政との情報交換会	1	随時	町担当課とは綿密な情報交換、連携ができています	A
2. 経営指導員の資質向上にかんすること	①研修会参加による資質向上	8	14	連合会主催研修13、機構研修1、事業団研修1	A
	②OJTによる取組	随時	随時	日常業務で実施	A
	③職員全員による支援ノウハウの共有	12	12	毎月1回の職員会議にて実施	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	①評価委員会の設置による事業の評価検証	1	1	委員会の開催1回	A
	②職員会議による進捗状況の確認と検証	12	12	毎月1回の職員会議にて実施	A